

活動情報



第 11 号



JAふくおか嘉穂 大豆「ふくよかまる」現地講習会を開催！

－ 生育は順調！今後の病虫害対策で高品質・高収量を目指す！ －

8月26日に、JA ふくおか嘉穂大豆現地講習会が飯塚市のほ場で開催され、部会員及び関係機関合わせておよそ20名が参加しました。

普及指導センターからは、播種時期から現在までの生育概況及び今後の栽培管理のポイントについて説明しました。

R7年産大豆は適期播種ができており、出芽・苗立ちが良く、順調に生育しています。講習会では今後の発生が懸念されるハスモンヨトウやカメムシ類の防除について重点的に説明するとともに、近年の減収要因の一つである難防除雑草アサガオ類対策の実証ほ（トレファノサイド乳剤土壌混和处理及び狭畦密植栽培）の状況について参加者と意見交換を行いました。

参加者からは、大豆の生育が良いため台風による倒伏を心配する声や病虫害の最適な防除時期・散布農薬等の質問が出され、また、アサガオ類対策の具体的な方法等についても生産者間での意見交換が活発に行われ、大変有意義な講習会となりました。

普及指導センターでは、今後も大豆「ふくよかまる」の高位・安定生産に向け、講習会や実証ほの設置・調査を通じて、農業者を支援していきます。



現地講習会の様子



アサガオ類対策実証ほの状況